



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場会社名 堀田丸正株式会社
コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 徹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,616	30.6	△18	—	△14	—	△22	—
24年3月期第1四半期	2,004	△7.5	△17	—	△10	—	△11	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △22百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △10百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△0.49	—
24年3月期第1四半期	△0.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第1四半期	6,464	—	3,042	—	47.1
24年3月期	5,624	—	3,111	—	55.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 3,042百万円 24年3月期 3,111百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,200	28.5	△15	—	△6	—	△20	—	△0.44
通期	11,000	27.4	95	137.5	108	41.6	68	32.2	1.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	49,280,697 株	24年3月期	49,280,697 株
25年3月期1Q	3,381,551 株	24年3月期	3,379,951 株
25年3月期1Q	45,899,893 株	24年3月期1Q	45,910,870 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法の基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコカー補助金や東日本大震災の復興需要で個人消費や雇用が回復し、全体として緩やかに持ち直しているものの、欧州債務危機の再燃や円高による景気の下ぶれ、電力供給に関する問題等、依然として先行きが不透明な状況にあります。

当衣料業界におきましては、個人消費が回復の傾向にあります。天候不順の影響を受け不安定に推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間は、当社の連結子会社であるHMリテーリング株式会社（以下「HMリテーリング」）が、当社の親会社である株式会社ヤマノホールディングスより、平成24年4月1日付で和装小売事業を譲受けました。これにより売上高及び売上総利益は増加いたしました。

これらの結果、売上高26億16百万円（前年同期比30.6%増）、営業損失は18百万円（前年同期は営業損失17百万円）、経常損失は14百万円（前年同期は経常損失10百万円）、四半期純損失は22百万円（前年同期は四半期純損失11百万円）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

和装事業は、平成24年4月1日付でHMリテーリング株式会社において和装小売事業を譲受け、当社との取引が連結上消去されたことにより、売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。この結果、売上高は4億28百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益は6百万円（前年同期は15百万円の営業利益）となりました。

寝装事業は、マットレスを中心としたウレタン製品の売り上げが伸びず売上高は減少しましたが、経費の削減によりセグメント利益は大幅に改善いたしました。この結果、売上高は2億32百万円（前年同期比10.9%減）、営業利益は2百万円（前年同期は13百万円の営業損失）となりました。

洋装事業は、量販店統合の影響を受けて子会社の売上高が減少しましたが、事業所の統合によりセグメント利益は増加しました。この結果、売上高は9億16百万円（前年同期比4.4%減）、営業利益は25百万円（前年同期は24百万円の営業利益）となりました。

宝飾・バッグ事業は、一部高級品への購買意欲が持ち直しつつあり、売上高が増加しました。この結果、売上高は33百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は3百万円（前年同期は0百万円の営業利益）となりました。

意匠擦糸事業は、国内市場及び中国市場の擦糸需要が落ち込んだことにより、売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。この結果、売上高は2億98百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益3百万円（前年同期は7百万円の営業利益）となりました。

和装小売事業は、個人消費の回復で売り上げが好調に推移した結果、売上高は7億24百万円、営業利益は0百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、64億64百万円（前連結会計年度末比14.9%増）となりました。これは主にのれん、商品及び製品、敷金及び保証金が増加したことによるものです。一方、負債は34億22百万円（前連結会計年度末比36.2%増）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。純資産は30億42百万円（前連結会計年度末比2.2%減）となりました。これは主に配当によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

我が国経済は、原発問題に起因する電力不足や電気料金の値上げ、長引く円高と株価の低迷等、不安定要素も多く、引き続き厳しい状況で推移するものと思われ。このような経済環境の中ではありますが、当社グループは、事業構造改革による黒字の基盤作りを終え、和装小売事業を営業譲受により新設したことから大幅な増収を見込んでおり、安定的な利益確保を目指してまいります。

このような状況を踏まえ、連結業績予想につきましては平成24年5月16日公表いたしました平成25年3月期第2四半期業績、通期業績の予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	563,864	640,431
受取手形及び売掛金	2,001,413	1,980,718
商品及び製品	1,340,016	1,665,290
仕掛品	25,312	18,711
原材料及び貯蔵品	61,464	60,487
短期貸付金	125,332	25,516
前渡金	1,039	115,111
前払費用	36,196	54,801
未収入金	18,804	128,754
預け金	16,901	11,705
その他	3,907	41,564
貸倒引当金	△70,120	△64,765
流動資産合計	4,124,134	4,678,327
固定資産		
有形固定資産	348,081	383,521
無形固定資産		
のれん	68,214	421,957
その他	28,713	47,274
無形固定資産合計	96,928	469,232
投資その他の資産		
投資有価証券	66,136	75,457
長期貸付金	678,219	272,028
破産更生債権等	391,891	400,339
長期前払費用	45,616	46,417
敷金及び保証金	115,105	378,513
その他	177,539	184,413
貸倒引当金	△419,522	△423,446
投資その他の資産合計	1,054,986	933,724
固定資産合計	1,499,996	1,786,477
資産合計	5,624,130	6,464,805

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,927,967	2,365,468
短期借入金	143,000	110,000
1年内返済予定の長期借入金	46,560	33,360
未払法人税等	24,893	9,415
未払消費税等	28,298	19,406
賞与引当金	11,050	18,267
返品調整引当金	20,714	16,550
未払金	125,548	322,882
その他	93,820	420,946
流動負債合計	2,421,851	3,316,296
固定負債		
長期借入金	31,840	28,000
長期未払金	56,856	51,767
繰延税金負債	2,315	1,237
資産除去債務	—	23,616
その他	—	1,562
固定負債合計	91,011	106,183
負債合計	2,512,862	3,422,480
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,070	1,975,070
資本剰余金	273,652	273,652
利益剰余金	1,044,258	976,000
自己株式	△188,159	△188,237
株主資本合計	3,104,821	3,036,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,153	5,249
為替換算調整勘定	△1,707	588
その他の包括利益累計額合計	6,446	5,838
純資産合計	3,111,267	3,042,324
負債純資産合計	5,624,130	6,464,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	2,004,030	2,616,368
売上原価	1,336,432	1,522,310
売上総利益	667,597	1,094,057
販売費及び一般管理費	684,623	1,112,648
営業損失(△)	△17,026	△18,591
営業外収益		
受取利息	3,862	2,736
受取配当金	1,046	1,141
受取賃貸料	2,100	2,100
その他	3,147	1,855
営業外収益合計	10,155	7,833
営業外費用		
支払利息	1,508	1,459
その他	1,870	2,698
営業外費用合計	3,378	4,158
経常損失(△)	△10,249	△14,915
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,269	—
固定資産売却益	196	135
その他	—	398
特別利益合計	9,465	533
特別損失		
事務所移転費用	5,535	—
有形固定資産除却損	406	874
その他	—	170
特別損失合計	5,941	1,044
税金等調整前四半期純損失(△)	△6,725	△15,425
法人税、住民税及び事業税	4,583	6,930
法人税等合計	4,583	6,930
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△11,308	△22,356
四半期純損失(△)	△11,308	△22,356

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△11,308	△22,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△471	△2,903
為替換算調整勘定	1,023	2,296
その他の包括利益合計	552	△607
四半期包括利益	△10,756	△22,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,756	△22,964

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (千円)
	和装事業 (千円)	寝装事業 (千円)	洋装事業 (千円)	宝飾・パッ グ事業 (千円)	意匠燃糸事 業 (千円)	計 (千円)				
売上高										
(1) 外部顧客に対 する売上高	411,550	261,197	958,313	30,890	342,078	2,004,030	—	2,004,030	—	2,004,030
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	702	702	△702	—
計	411,550	261,197	958,313	30,890	342,078	2,004,030	702	2,004,732	△702	2,004,030
セグメント利益 (又はセグメント 損失(△))	15,943	△13,557	24,559	522	7,439	34,906	338	35,245	△52,271	△17,026

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△52,271千円には、セグメント間取引消去1,369千円、のれん償却額7,579千円、各報告セグメントに配分していない全社費用46,061千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント							その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 (千円)
	和装事業 (千円)	寝装事業 (千円)	洋装事業 (千円)	宝飾・バ ック事業 (千円)	意匠撚糸 事業 (千円)	和装小売 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高											
(1) 外部顧客に対 する売上高	410,938	232,745	916,554	33,045	298,961	724,122	2,616,368	—	2,616,368	—	2,616,368
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17,414	—	—	—	—	—	17,414	630	18,044	△18,044	—
計	428,353	232,745	916,554	33,045	298,961	724,122	2,633,782	630	2,634,412	△18,044	2,616,368
セグメント利益 (又はセグメント 損失(△))	6,429	2,195	25,721	3,036	3,717	342	41,442	285	41,728	△60,319	△18,591

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△60,319千円には、セグメント間取引消去782千円、のれん償却額7,579千円、各報告セグメントに配分していない全社費用53,523千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成24年3月に和装小売事業を目的とした連結子会社を新設し、当第1四半期連結会計期間より、同社が和装小売事業を譲受けたことに伴い、報告セグメントを従来の「和装事業」、「寝装事業」、「洋装事業」、「宝飾・バック事業」及び「意匠撚糸事業」の5区分から、「和装事業」、「寝装事業」、「洋装事業」、「宝飾・バック事業」、「意匠撚糸事業」及び「和装小売事業」の6区分に変更しております。

なお、連結子会社の新設は、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関して、与える影響はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結累計期間において、和装小売事業を譲受けたため、「和装小売事業」セグメントにおいて、のれんを認識しております。当該事象によるのれんの増加額は、361,322千円であります。